

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	フリースマイル大村core（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		～	2026年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		～	2026年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月25日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されています。	調理活動や机上課題、体を動かせる部屋や屋外のアスレチックエリアなど場所によって様々な活動に取り組めるようになっており、相談室のように静かに過ごす部屋も分けていますので、あらゆる活動に参加できるスペースがあります。	各部屋や各場所での提供できるプログラムが充実できるように、場所に応じてスペースの確保ができるようにさらに構造化に努めます。
2	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっています。また、こども達の活動に合わせた空間となっています。	毎日の掃除に加え、清潔感を保ち、心地よく過ごせるよう心がけています。また、活動に必要な物を置くようにしており、場所の構造化をして用途の把握をしやすいように工夫しています。	年齢や特性に合わせての空間作りの見直しをすると、より過ごしやすい空間になると思うので、全職員で見直してみます。
3	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成しています。	こども一人ひとりの得意・苦手をしっかり把握し、職員で分析してアプローチ方法を考え、保護者とも共有したうえで個別支援計画を話し合いながら作成しています。	より細かく分析をし、アプローチ方法を増やして支援の幅を広げることができるように努めます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていない。	年に1回行われている法人主催の講演会がありますが、契約の時期によっては告知や周知ができていないと感じました。	年間を通して行われている研修会などについても、事業所の見学や契約時に告知や周知を行います。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がない。	地域で行われるイベントには参加していますが、他の放課後等デイサービスや学童、地域のこどもと交流する機会が少なく、お誘いいただいた時はありましたが元々予定していたイベントをずらすことが難しく参加ができませんでした。	地域イベントへ参加できるよう、市の予定表を見て参加できるよう計画します。また、お誘いいただいたイベントには極力参加できるよう、予定を柔軟に変更できるように心がけます。
3	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていない。	夏祭りは全家庭が家族全員で参加できるように開催しました。また、夏休みの終わりに全家庭を映画館へ招いて事業所で貸し切り上映を行いました。毎年3月には保護者会と発表会を兼ねた交流会を開いているため、イベント事について新規契約の家庭への周知ができていないと感じました。	事業所見学や契約の際に、その時期のイベントや大きなイベントの告知や周知はしますが、対応するスタッフによっては告知が漏れることもあるので、告知内容を統一していきます。